

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県央会場

科目 ⑭安全対策・緊急時対応

- ◆ 本科目では、安全対策について学びました。支援員の安全管理はもちろんのこと、子どもたちへの安全教育も大事だということを改めて感じました。子ども自身が自らの安全を守るために、コミュニケーション能力、自分の身を守る能力、自分の時間を管理する能力など危険を回避する能力を身に付けさせることも支援員の大事な役割だと感じました。そのためには、子どもたちと絵を見ながら、危険を見つけ、確認するのも良い方法だと思ったので取り入れていきたいです。
- ◆ 子どもの安全のためには、子どもが過ごす場所をまずは点検してから遊ばせる等、日々できる小さなことから実践していく必要性を感じました。「危険だからあれはダメ、これはダメ」ではなく、どうすれば安全に遊べるのかといった目線を培い、対応策を学んだうえで、のびのびと見守ることが大切です。子ども自身が自らの安全を守るために危険回避能力を身につけられるよう、毎日の声かけの中から伝えていけるようにしたいと思います。人任せにせず、みんなで学び合いたいです。
- ◆ 常に気配り、目配りをしながら子どもたちを注視していますが、子ども同士の衝突などの不意に起こる事故は回避できないときもあります。寺田先生のお話は、とても分かりやすく、事故を未然に防ぐ対策や保護者に対しても正しく伝えることの大切さなどを職員みんなで共有し、学校や地域とも関わりをもってこれからの支援に役立てていきたいです。
- ◆ ハインリッヒの法則にもあるように、日常のちょっとしたヒヤリハットを見逃さず、職員間で共有することの大切さも分かりました。今までも入学シーズン等において、学童保育までの経路にある危険箇所の説明や施設での約束事を丁寧に教えていましたが、今後はより一層力を入れていきたいです。また、事故を完全に防ぐことはできないかもしれませんが、事故発生の防止に努め、万が一起きてしまった際は適切な対応をとれるように普段から準備していきたいです。
- ◆ 安全指導として、①事故は未然に防ぐ、②事故は最小限に止める、③同じ事故は二度と起こさないというキーワードが心に残りました。そのために毎日の安全点検やマニュアル作り、チェック表を作成するとよいことを学びました。また、子ども自身が自分の身を守る能力（コミュニケーション能力を高めること、身を守る方法を知ること、時間の管理をすること）を身に付けることができるような声かけを日常的に行っていきたいです。